

# スーパースポーツデコンプカムシャフトキット 取扱説明書

(S-Stage/C タイプ)

製品番号 01-08-0069

適応車種	モンキー / ゴリラ (Z50J-2000001 ~ ) (AB27-1000001 ~ 1899999)
	モンキー BAJA (Z50J-1700001 ~ )
	CRF50F (AE03-1400001 ~ )
	XR50R (AE03-1000001 ~ )
	MAGNA50 (AC13-1000010 ~ )
	CD50 (CD50-1500001 ~ )
	CL50 (CD50-4000001 ~ )
	Benly50 (CD50-2200005 ~ )
	12V DAX50 (AB26-1000001 ~ )

JAZZ (AC09-1000030 ~ )
Solo (AC17-1000001 ~ )
スーパーカブ 50 (C50 -9000001 ~ 0095210)
(C. D. I. 点火車) (C50 -0200001 ~ 0999999)
(C50 -2100001 ~ 2299999)
(AA01-1000001 ~ 1699999)
リトルカブ (C50 -4300001 ~ )
(AA01-3000001 ~ 3999999)
ジョルカブ (AF53-1000001 ~ )

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

## 製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	デコンプカムシャフト COMP.	1	01-08-0070
2	ロッカーアーム ASSY.	2	00-01-0335
3	ストッパープレート	1	00-01-0076

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。

予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

●はじめに

・本取扱説明書は、モンキー・ゴリラに取り付ける場合の作業を例に記しています。  
 モンキー等一部車種では、エンジンを下ろさなくてもカムシャフト交換作業が可能です。ありますが、車両によってはエンジンを下ろす必要がある等、作業内容は車種により異なる場合があります。  
 各々の車両の仕様に合せて作業を行って下さい。  
 ・本取扱説明書は、モンキー・ゴリラの場合で、エンジンを車体から下ろさずにカムシャフトの交換する作業のみを記しています。その他の作業に関しては、各車両のサービスマニュアルを参照して行って下さい。

●カムシャフトの交換

○スパークプラグを取り外す

- ◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。  
必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。
- ◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。



○シリンダーヘッド左カバーを取り外す

- ◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。  
 (ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2~3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)



○クランクケース左カバー取り外す

- ◇シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。



- ◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。



○タペットキャップ2個を取り外す

- ◇タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。



○カムスプロケットを取り外す

- ◇フライホイールのTマークとカムスプロケットの0マークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



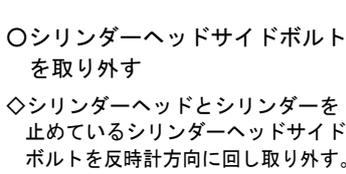
- ◇フライホイールを固定し、カムスプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



- ◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。



- ◇カムチェーンをカムプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。
- ◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

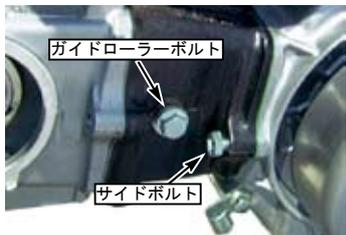


○シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す

- ◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



- ◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。



○シリンダーヘッドカバーを取り外す

- ◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。
- ◇ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。



- ◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)  
 シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。



○シリンダーヘッドを取り外す

- ◇フロントタイヤの空気を抜く。(プラスドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音が出なくなるまで押し続けます。)
- ◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



- ◇フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。



- ◇ノックピン2個は再使用するの取り外しておく。

○カムシャフト交換

- ◇オリジナルのシリンダーヘッドのロッカーアームシャフトとロッカーアームのアジャストボルト及びアジャストナットを取り外します。



- ◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のロッカーアームとアジャストボルトにエンジンオイルを塗布し、取り付けます。



◇専用のカムシャフトの両端のベアリングにエンジンオイルを塗布します。



◇カム山にモリブデン溶液を塗布します。



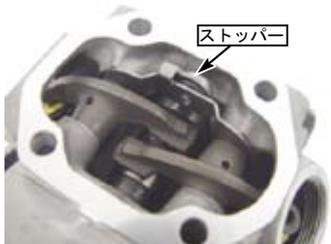
◇キットのシリンダーヘッドにカムシャフトをセットします。



デコンプカムのストッパー部は燃焼室側に向けておきます。



◇シリンダーヘッドにキット内のストッパープレートのストッパー部をシリンダーヘッド右側に向け、ロッカーアームと共にセットします。



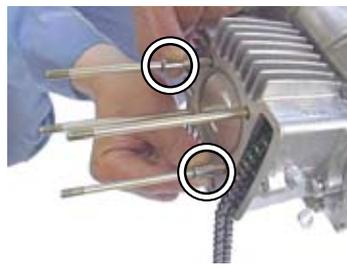
◇オリジナルのロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、ロッカーアームシャフトのネジ部を外側に向け、ロッカーアームとストッパープレートの穴位置を合わせ、ロッカーアームシャフトを取り付けます。



○シリンダーヘッド取り付け

◇シリンダーヘッド面とシリンダー

上面をシンナー等で脱脂する。  
◇シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



◇ヘッドガスケットを取り付ける。



◇タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。  
◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



◇矢印は下の方向です。



◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。  
(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が6角ナット残りの3つがふくろナット)



◇ヘッドナットを均等に締め付ける。  
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ヘッドナット  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。  
先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ガイドローラーボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)  
サイドボルト上下  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○カムプロケットの取り付け  
◇フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



◇カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にかむシャフトをセットする。  
それがカムシャフトの圧縮上死点です。



◇カムシャフトにロックピンを取り付ける。



◇チェンジペダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーが緩むのはめやすくなる。



◇カムスプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切りかき部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。



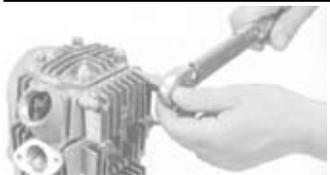
◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
カムスプロケットボルト  
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



◇キット内の右サイドカバーガスケットをキット内の右サイドカバーにセットし、シリンダーヘッドにキット内のフランジボルト2本を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
フランジボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇先程、取り外したチェンジペダルシャフト横の六角ボルトを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
六角ボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○タペット隙間の調整

◇クランクシャフトを反時計方向に2回転以上回し、デコンプを解除した後、サイドマークを合わせます。

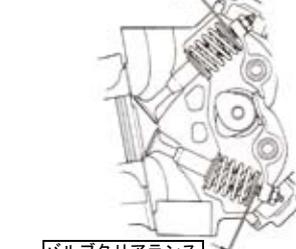
※クランクシャフトは時計方向に回さないで下さい。デコンプが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。

◇カムスプロケットのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切りかきに合う様に止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットとフライホイールが同時に合えばOK。

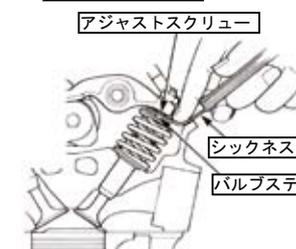


◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリーを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリーとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける(少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるく入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる) IN. EX 共に0.05ミリに合わせる。

バルブクリアランス  
(インテーク側)



バルブクリアランス  
(エキゾースト側)



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。※クランクシャフトは時計方向に回さないで下さい。デコンプが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。



◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は再度調整する。



◇タペットキャップ2個を取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
タペットキャップ  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



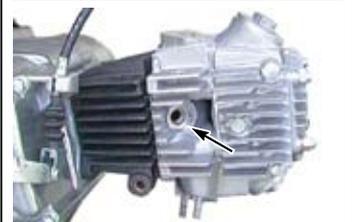
○シリンダーヘッド左カバー取り付け

◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。(左サイドカバーがボルトを締めた時に右回りにしないように回り止めを合わせる)



◇シリンダーヘッド右側の六角ボルト(矢印)を締める。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
六角ボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○スパークプラグの取り付け

◇車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
プラグ  
トルク：11N・m (1.1kgf・m)



◇プラグキャップをプラグに取り付ける。